No. 249

共通テスト ULTIMATE CHEAT SHEET

共通テストの図表・グラフ問題の解き方

図表問題は英語力より「照合の手順」で決まる。グラフの読み方、割合・増減の言い換え、計算が必要な問題の手順を例題つきで。

Web版はこちら

ここだけ3行

1 先に軸・単位・凡例を見て「何の比較か」を言葉にする
2 本文の数値表現を数字に直してから図と照合
3 計算は「基準」と「条件」をメモしてから

落とす原因は英語ではない

図表問題で落とす原因の多くは、**「何と何を比べた図か」を確かめずに読み始めること**。単位(%か人数か)・期間・比べる対象を取り違えると、英文が完璧に読めても間違える。英文より先に図を「日本語の一言」にする。

◆ 図表問題の手順 6

① **タイトル・軸・単位・凡例**
何の図か、縦軸と横軸、%か人数か、色や線の区別を確認する。

② **図を一言にする**
「Aは増加、Bは横ばい、最大はC」のように特徴を日本語で一言。

③ **問いと選択肢の数値表現に線**
more than half／doubled など、照合すべき表現を決める。

④ **本文の表現を数字に直す**
three quarters→75%、one in five→20% と書き込む。

⑤ **図と1つずつ照合**
選択肢の数値・順位・増減の向きを、図の値と1か所ずつ確認。

⑥ **計算は基準と条件をメモ**
「何から」「何人以上なら」を書いてから計算する。

◆ グラフの種類と見る所

種類	見る所	よく問われること
棒グラフ	項目どうしの大小	最大・最小・順位・差
折れ線グラフ	時間による変化	増減の向き・最も変化した時期
円グラフ	全体に対する割合(合計100%)	半分以上か・何分の1か
表	行と列の見出し・条件	条件に合う項目・数値の照合
地図・図面	位置・方角・目印	場所の特定・行き方

◆ 増減・変化の表現 10

語	意味	メモ
☐ **rise／increase／go up**	増える	rise は自動詞、raise は他動詞
☐ **a sharp increase**	急増	sharp＝急な、dramatic＝劇的な
☐ **gradually／steadily**	徐々に／着実に	変化の進み方
☐ **fall／decline／drop**	減る	decrease も同じ
☐ **remain stable／level off**	横ばい／横ばいになる	変化しない部分
☐ **peak／reach a peak**	最高になる	折れ線の頂点
☐ **fluctuate**	上下する	増減をくり返す
☐ **double／triple**	2倍／3倍になる	twice as many as も2倍
☐ **halve／fall by half**	半分になる	by は差を表す
☐ **recover**	回復する	一度減って持ち直す

◆ 割合・比較の表現 10

語	意味	数字にすると
☐ **half／more than half**	半分／半分より多い	50%／50%超
☐ **a third／two thirds**	3分の1／3分の2	約33%／約67%
☐ **a quarter／three quarters**	4分の1／4分の3	25%／75%
☐ **one in five**	5人に1人	20%
☐ **the majority／a minority**	過半数／少数	50%超／50%未満
☐ **nearly／almost**	ほぼ(少し足りない)	nearly 40＝40弱
☐ **approximately／about**	約	前後どちらもあり
☐ **percentage point**	%の差	20%→30%は10ポイント増
☐ **the second largest**	2番目に大きい	順位の問い
☐ **twice as many A as B**	AはBの2倍	基準は as の後の B

◆ 計算が必要な問題の型 5

☐ **1 割引は条件を先に**
「何人以上・何日前まで・学生だけ」の条件を満たすかを確認してから計算する。

> Tickets are $10. Groups of five or more get 20% off.
> → 5人なら $8×5＝$40

☐ **2 時刻は足し算**
開始時刻＋所要時間、締め切り−準備時間。半端な分(45分・90分)で間違えやすい。

> The tour starts at 1:45 and takes 90 minutes.
> → 終了は3:15

☐ **3 増加量と増加率は別**
200→300は「100増」で「50%増」。「最も増えた」がどちらを指すかを問いで確認する。

☐ **4 %と%ポイント**
40%→50%は「10ポイント増」だが「25%増」。共テの英文でも percentage points が使われる。

☐ **5 1人あたりか合計か**
per person／each／in total／altogether を見落とさない。人数をかけ忘れる誤答が多い。

例題データ：市立図書館の利用者数（人）

オリジナルのデータ。下の「この表で問われる形」で使う

	2022年	2023年	2024年
中学生	400	500	800
高校生	600	650	700
大人	1,000	950	1,000

この表で問われる形 4

☐ 1 **「最も増えた」**
2022→2024の増加量は中学生400人・高校生100人・大人0人。最も増えたのは中学生。最大の値（大人）と混同しない。

☐ 2 **「2倍になった」**
中学生は400→800で doubled。高校生は600→700で約17%増にすぎない。

☐ 3 **「横ばい」**
大人は1,000→950→1,000で、ほぼ remained stable。一度減って戻った（recovered）とも言える。

☐ 4 **「割合」**
2024年の合計は2,500人。中学生800人は32%で、about a third に近い。

図表問題のやりがちなミス 5

☐ ✕ ~~%の図を人数として読む~~
○ **縦軸の単位を最初に確認**
割合が大きくても人数が多いとは限らない

☐ ✕ ~~「最も増えた」を一番高い棒で選ぶ~~
○ **前の値との差で比べる**
最大の値と最大の増加は別

☐ ✕ ~~凡例の色・線を取り違える~~
○ **凡例を指で押さえて照合**
2本の線のグラフで定番の誤答

☐ ✕ ~~年・期間を取り違える~~
○ **横軸の範囲と問いの期間を確認**
from A to B の範囲だけを見る

☐ ✕ ~~nearly 40 を40以上と読む~~
○ **nearly は少し足りない**
境目の数字で選択肢を分ける

確認テスト

1 The number of visitors doubled from 2,000. 増えた後は？
a 4,000人　b 20,000人　c 2,002人　d 3,000人

2 One in four students walks to school. 歩いて通う生徒の割合は？
a 25%　b 40%　c 14%　d 75%

3 支持率が20%から30%になった。正しい英語は？
a It rose by 10 percent.　b It rose by 30 percent.　c It doubled.
d It rose by 10 percentage points.

4 大人$12、子どもは半額。大人1人・子ども2人の合計は？
a $24　b $30　c $36　d $18

5 remain stable が表す折れ線の形は？
a 急降下　b 横ばい　c 上下をくり返す　d 急上昇

解答

1 4,000人 double＝2倍
2 25% 4人に1人＝25%
3 It rose by 10 percentage points. %の差は percentage points（率では50%増）
4 $24 12＋6×2＝24
5 横ばい stable＝安定した

参考資料 大学入試センター「令和8年度 本試験の問題」（英語リーディング第2・8問、リスニング第5・6問の図表）／大学入試センター「令和7年度 本試験の問題」

もっと無料で学ぶなら
原田英語.com
究極の英単語帳（PDF印刷）・共テ単 キョウテタン・共通テスト満点チートシート・英文法大全・英作文超絶採点くん・時事英語ナビ…
受験に役立つ無料の英語アプリと、約2,800本の記事。
原田英語.com
ほかのチートシート（全439本・無料）